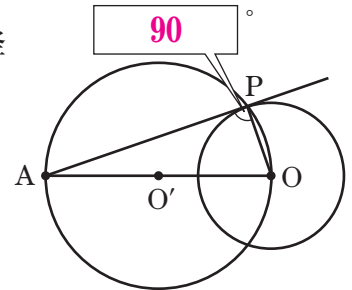


①円周角の定理の利用

円周角の定理を利用して，円の接線を作図することができる。

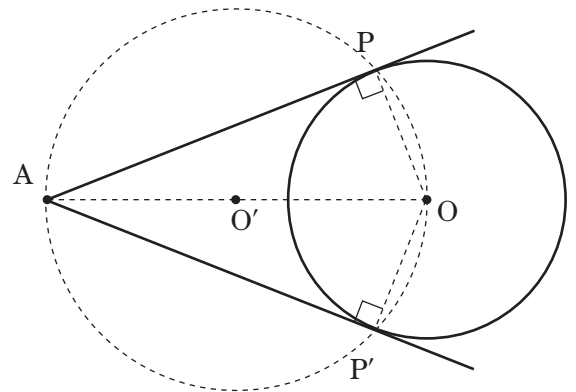
右の図のように，円O外の点Aから円Oにひいた接線は，点Pで半径POと **垂直** に交わるはずである。したがって， $\angle APO$ が 90° になることから，線分AOを **直径** とする円O'と円Oの交点が **接点** となる。このことを利用して，円O'を作図し，接線をかくことができる。



②円の接線

円Oに円外の点Aから接線をひく場合，接点の位置を求める必要がある。

右の図のように，AOを **直径** とする円と円Oの交点をP，P'とすれば，P，P'はAOを直径とする円の円周上にあるので， $\angle APO$ ， $\angle AP'O$ は **90** $^\circ$ となり，直線AP，AP'は円Oの接線となる。



また，このとき， $\triangle APO$ と $\triangle AP'O$ は

直角 三角形であり，**AO** は共通で $PO = P'O$ なので， $\triangle APO \cong \triangle AP'O$ より， $AP = AP'$ となる。すなわち，円外の1点から，その円にひいた2つの接線の長さは **等しい** ことになる。

③円と相似

右の図のように，円の内部の点Pを通る2つの直線によってできる $\triangle ACP$ と $\triangle DBP$ は **相似** になる。このことは，図の $\angle C$ と $\angle B$ は \widehat{AD} に対する **円周角** であり， $\angle A$ と $\angle D$ は \widehat{CB} に対する円周角であることから証明できる。

相似な図形では対応する辺の **比** は等しいので，

$PA : PD = PC :$ **PB** という関係が成り立つ。

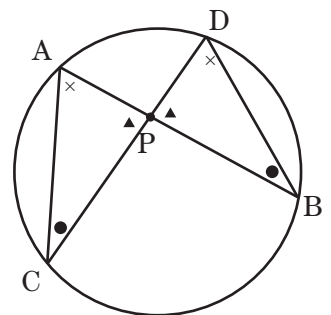
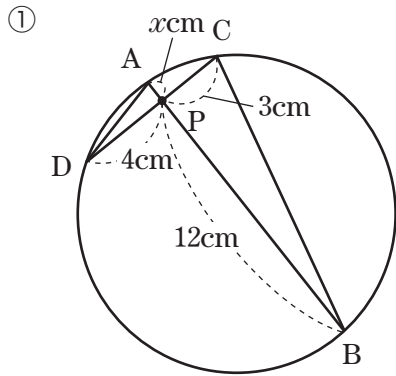
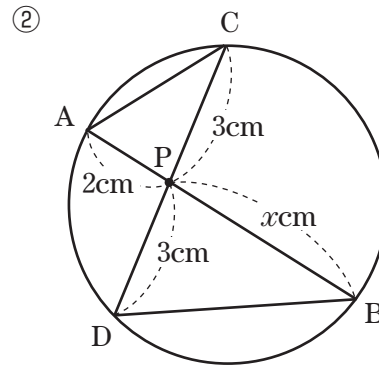


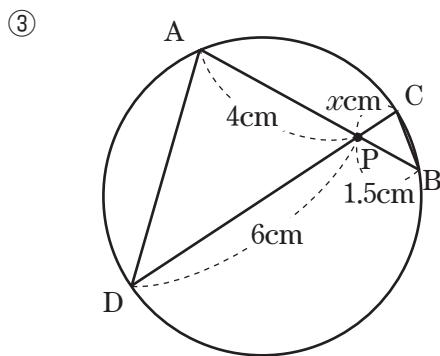
図 1 次の①～④のように、2つの弦 AB, CD の交点を P としたとき、 x にあてはまる数値を求めなさい。



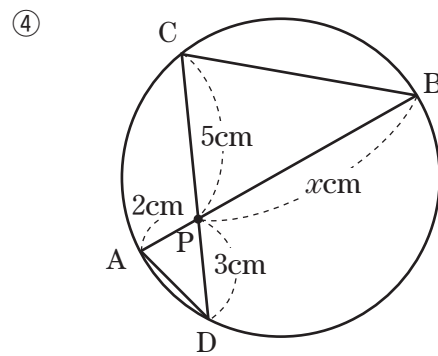
● $x : 3 = 4 : 12$
 $x = 1$ (1)



● $2 : 3 = 3 : x$
 $x = 4.5$ (4.5)



● $4 : x = 6 : 1.5$
 $x = 1$ (1)



● $2 : 5 = 3 : x$
 $x = 7.5$ (7.5)

図 2 右の図のように、点 P を通る 2 つの直線があり、それぞれ円と点 A, B, および C, D で交わっています。このとき、 a の長さを求めなさい。

● $\triangle ADP \sim \triangle CBP$ より,
 $(12+a) : (3+9) = 9 : a$
 よって、 $(12+a) \times a = 9 \times 12$
 この a についての 2 次方程式を解けばよい。

(6) cm

